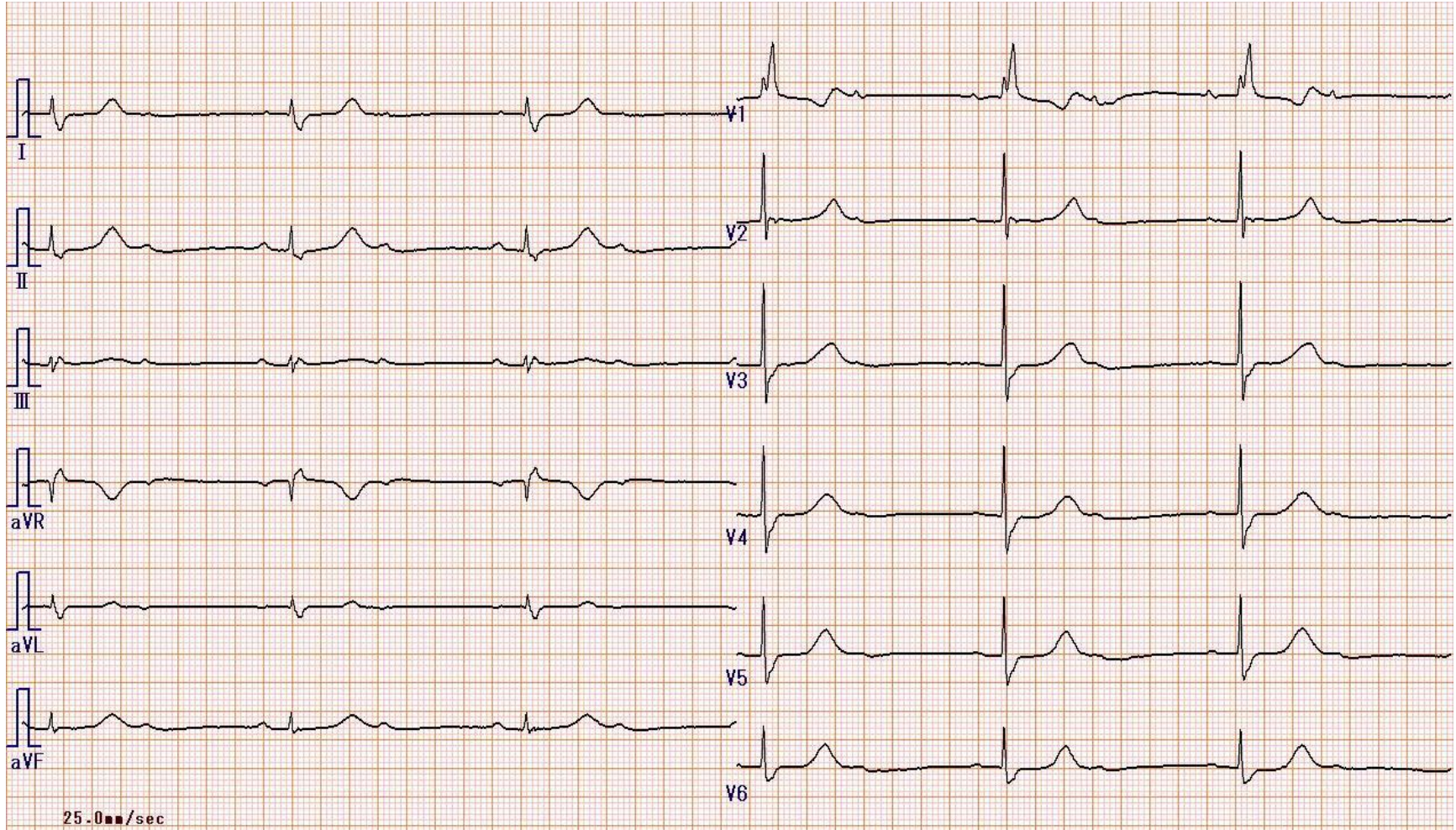


問題1

84歳 女性. 4日前より動悸を認める。

次の心電図所見として最も考えられるものを1つ選択せよ。

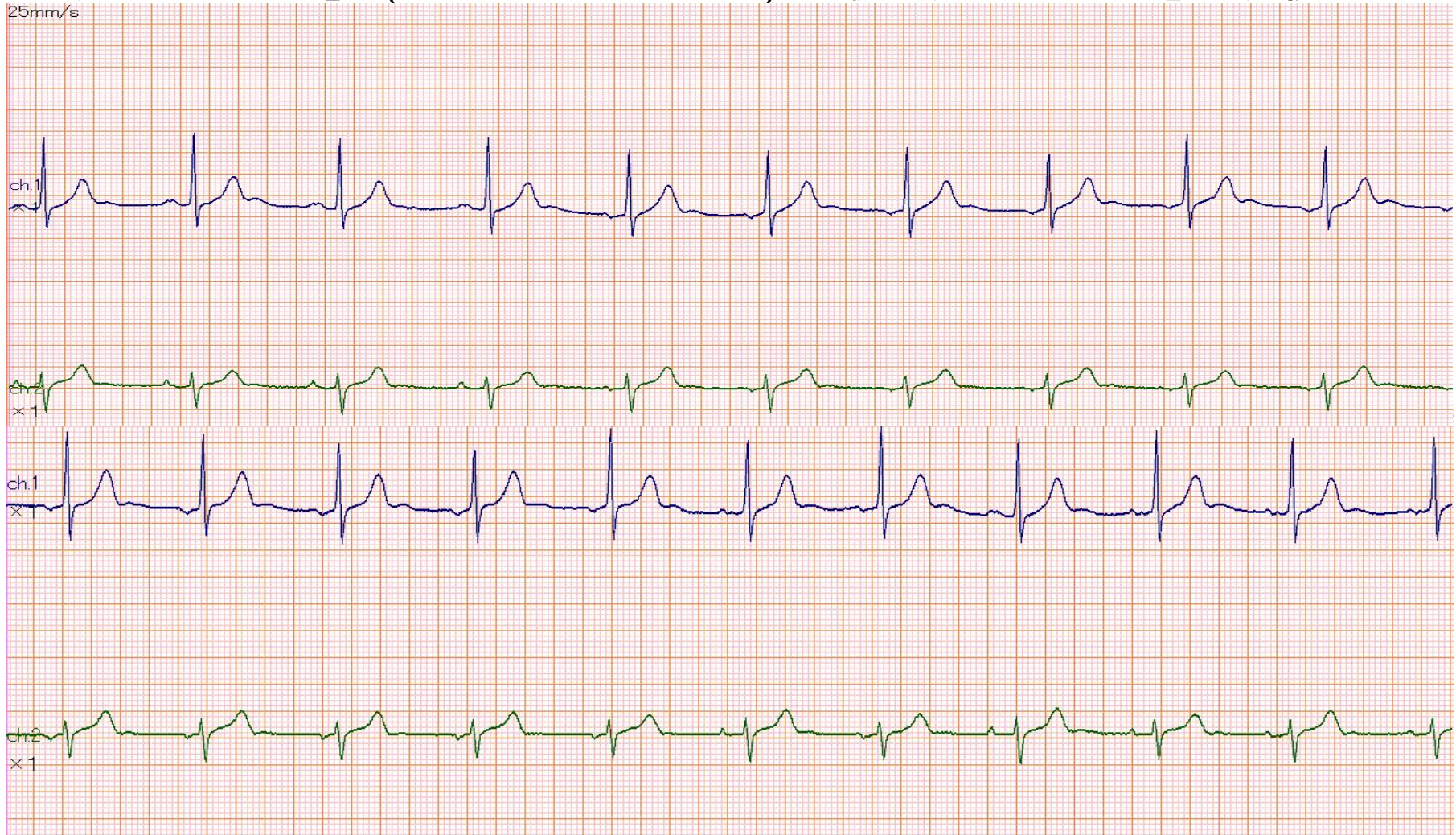


《問題1 選択肢》

1. sinus bradycardia
2. advanced AV block
3. SA block
4. 2:1 AV block
5. complete AV block

問題2

73歳 男性. 高血圧の既往歴あり。立ちくらみ精査のため、ホルター心電図検査を行った。次のホルター心電図(ch1:CM5 ch2:NASA)より最も考えられるものを1つ選択せ

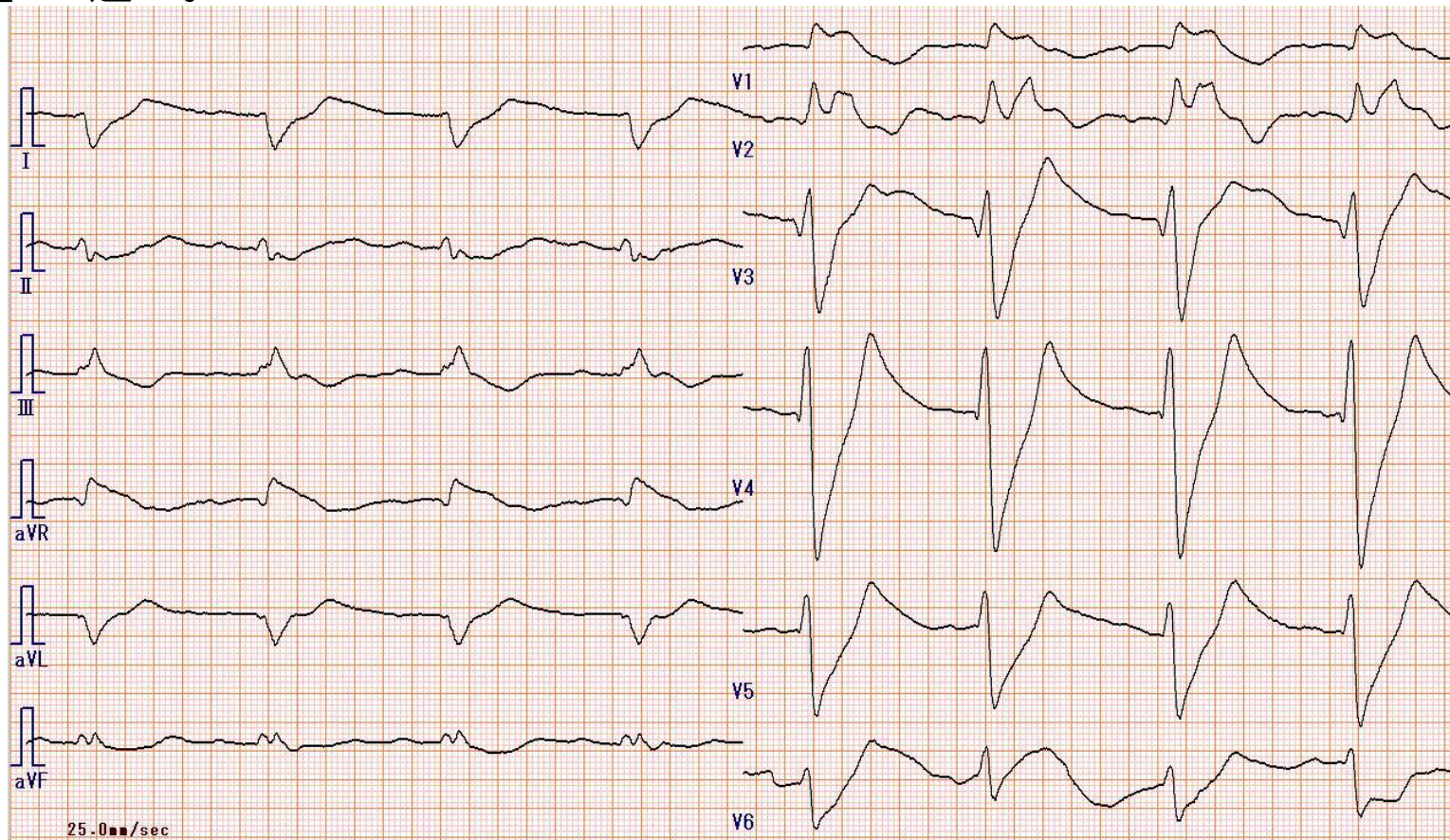


《問題2 選択肢》

1. 上室性期外収縮
2. Wandering pacemaker
3. 正常洞調律
4. Sick Sinus Syndrome (SSS)
5. 直ちに医師への報告が必要

問題3

81歳 男性. 糖尿病の治療中. 入院中に記録した下図の心電図より、最も考えられるものを1つ選べ。

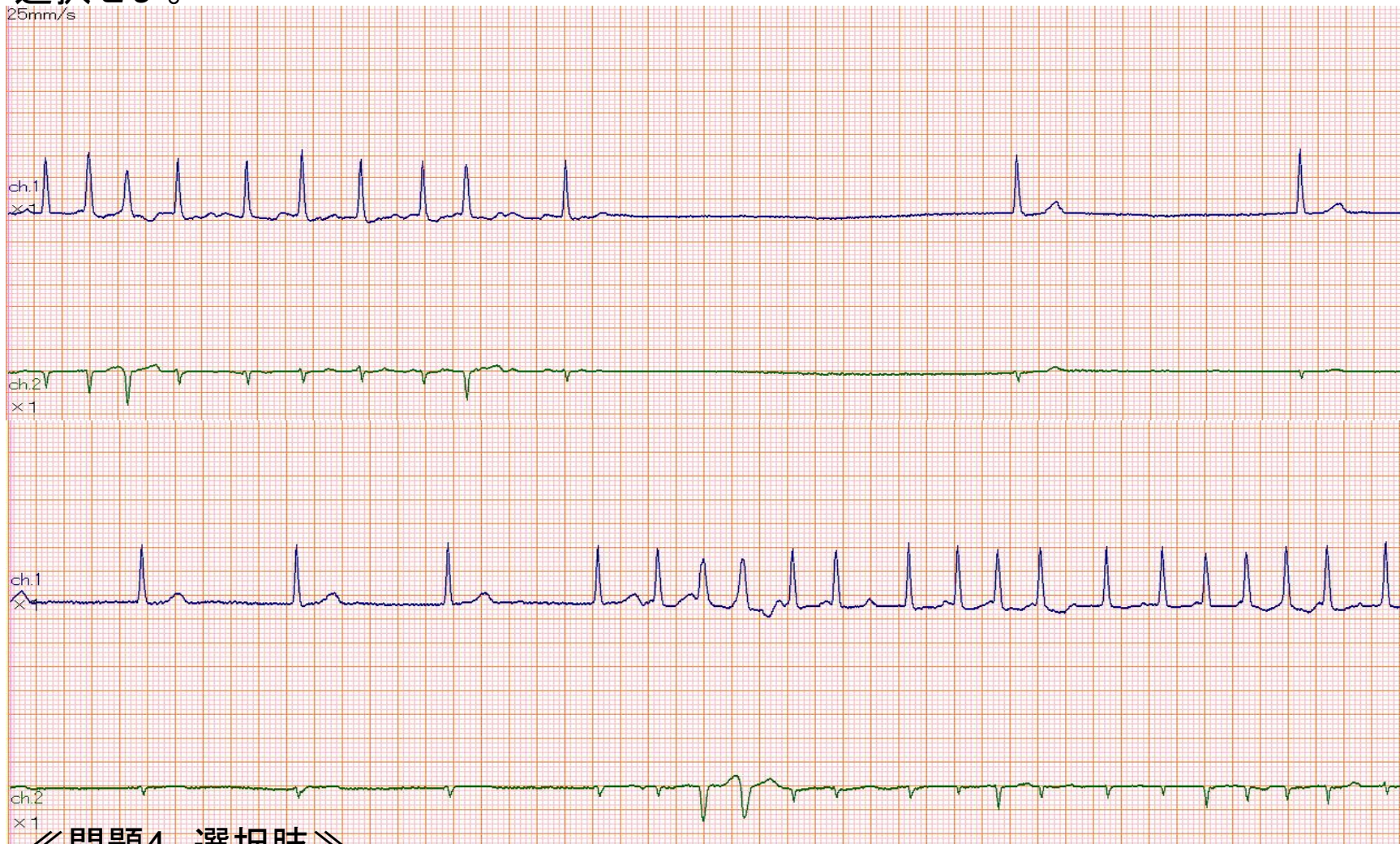


《問題3 選択肢》

1. 電極の四肢誘導の左右つけ間違いであるため、何もする必要がない。
2. 高カルシウム血症のため輸液をするのが望ましい。
3. 高カリウム血症のため人工透析を行うのが望ましい。
4. 脱水のため直ちに輸液をするのが望ましい。
5. 低カリウム血症のためカリウム製剤を投与するのが望ましい。

問題4

77歳、女性。意識消失発作で受診された。次の心電図より最も考えられるものを3つ選択せよ。



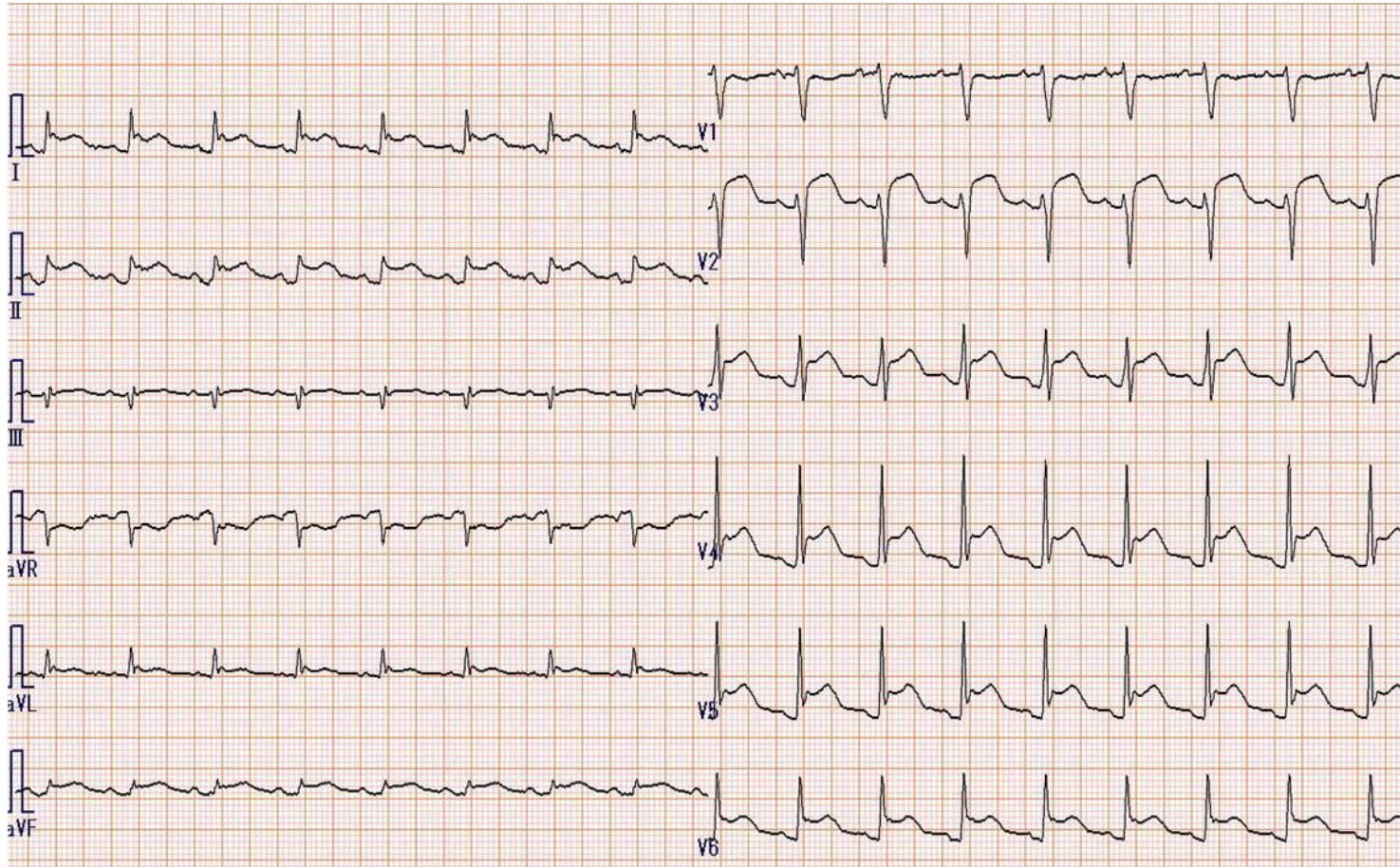
《問題4 選択肢》

1. Sick Sinus Syndrome (SSS)
2. Overdrive suppression
3. 心室性補充収縮
4. 房室接合部性補充収縮
5. 5.0秒の洞休止
6. 心房粗動

問題5

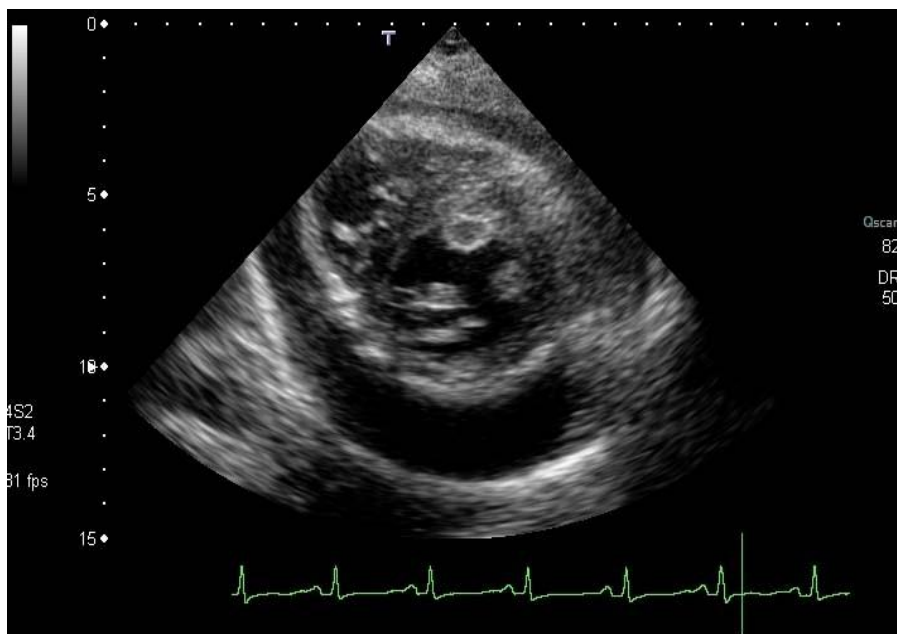
27歳女性、1週間前から呼吸苦、胸部圧迫感が出現し、3日前から倦怠感、吐気、食欲低下などを認めたため入院となった。来院時の心電図と心臓超音波画像である。

次の所見として適当でないものはどれか2つ選択せよ。

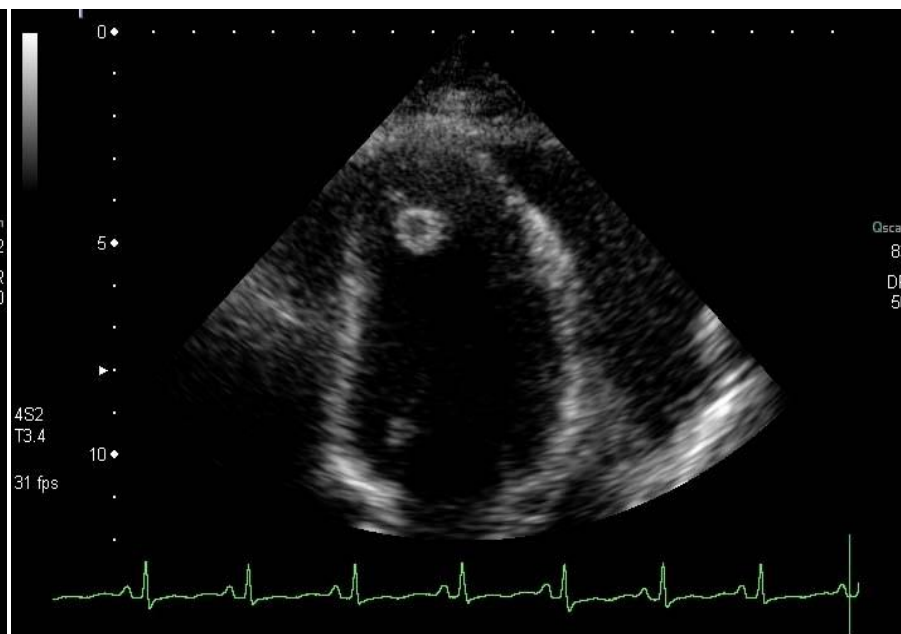


心電図

左室短軸断層像



心尖部二腔断層像

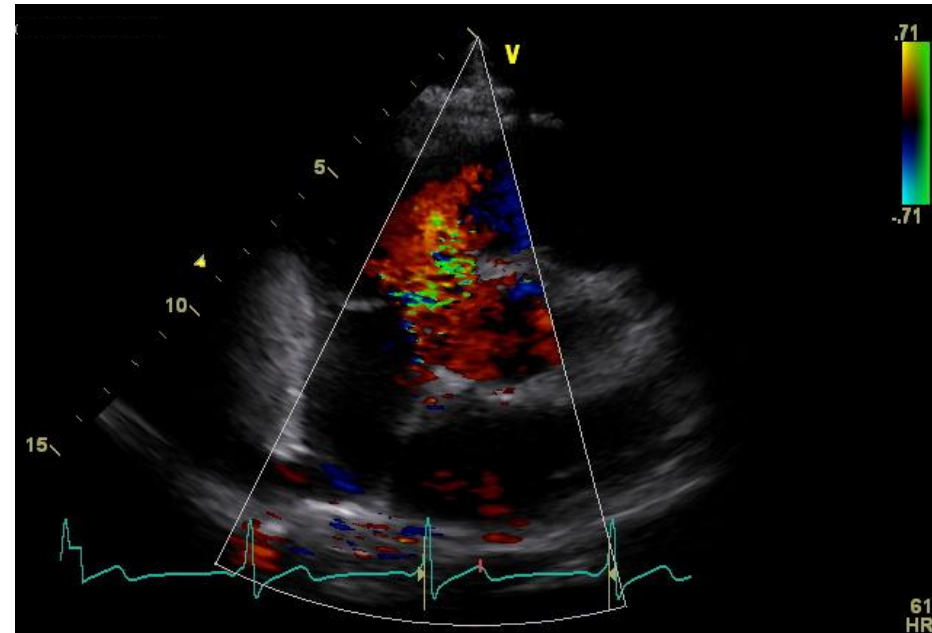
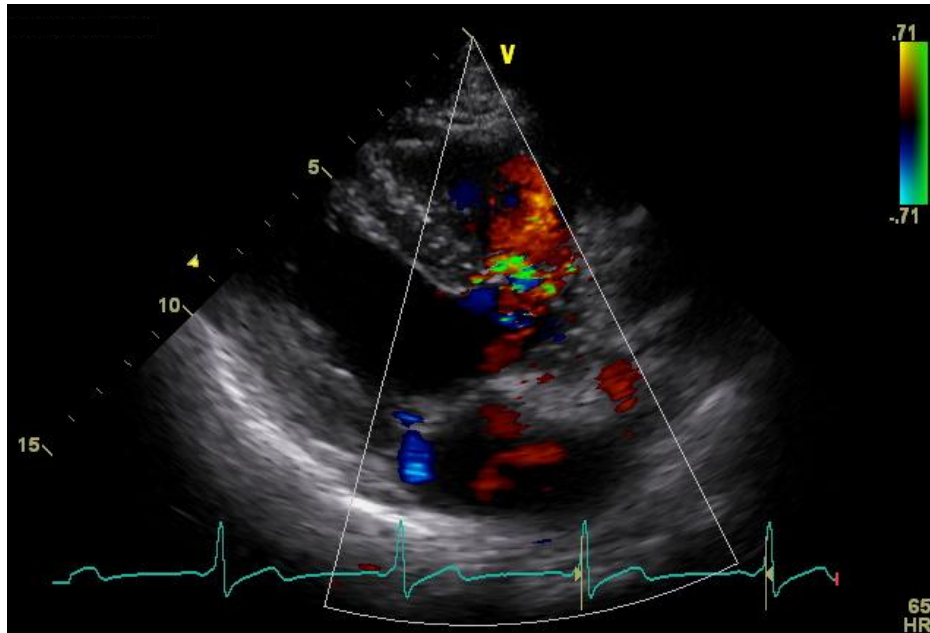


《問題5 選択肢》

- 1.左室内血栓を認める
- 2.心膜炎を疑う
- 3.心尖部肥大型心筋症を疑う
- 4.心膜腔液の貯留を認める
- 5.心室瘤を認める

問題6

36歳男性、5年前他院にて心室中隔欠損症に対しパッチ閉鎖術を施行したが、以後経過観察されていなかった。今回心窩部痛や胃不快感が出現したため来院された。その際に施行された心臓超音波画像である。 次のうち最も考えられるものを1つ選択せよ。

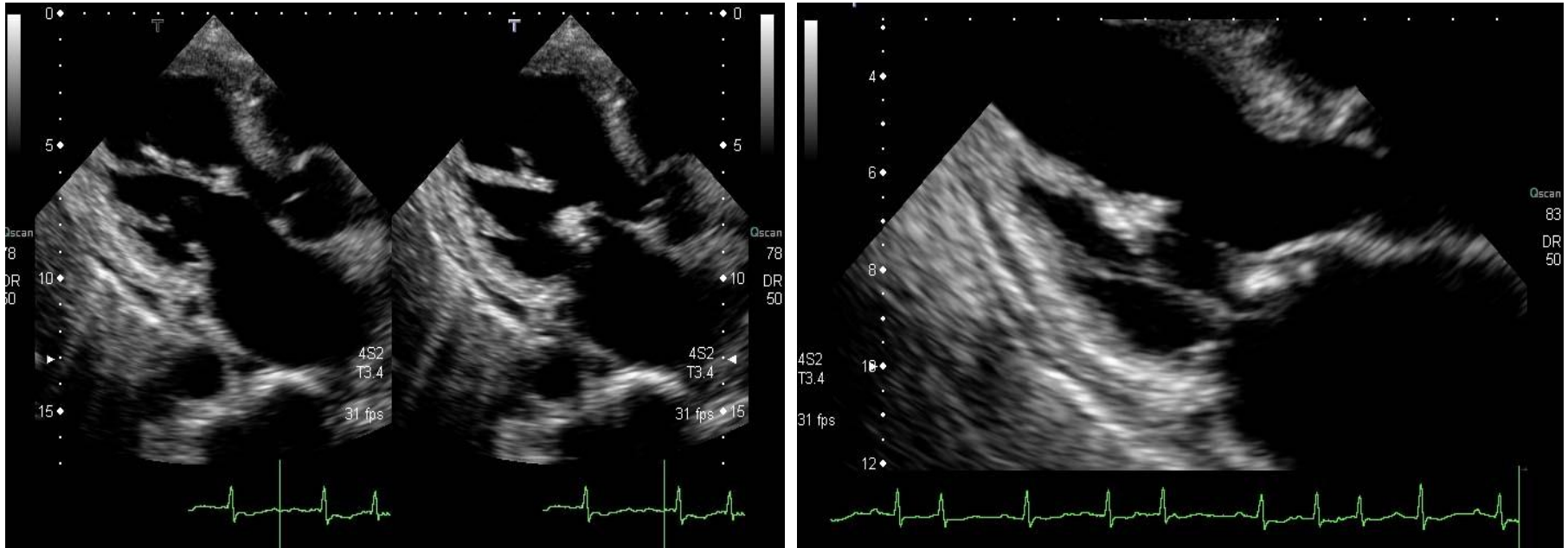


《問題6 選択肢》

- ①大動脈弁狭窄症
- ②高度大動脈弁閉鎖不全症
- ③心房中隔欠損症
- ④心室中隔欠損の再開存
- ⑤Eisenmenger症候群

問題7

60歳女性、38度台の発熱、炎症反応高値が持続するため当院紹介となった。左室長軸断層画像を示す、次のうち最も考えられる所見を2つ選べ。

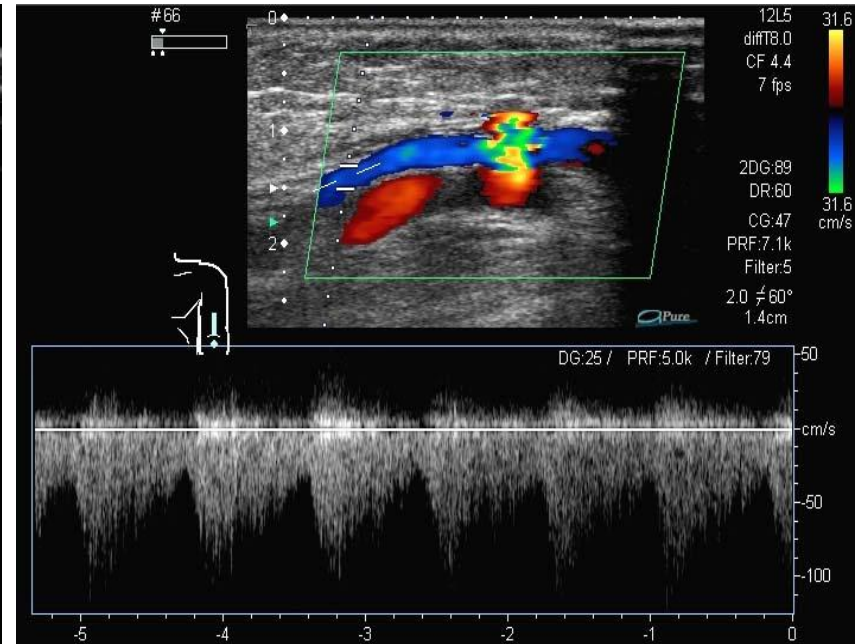
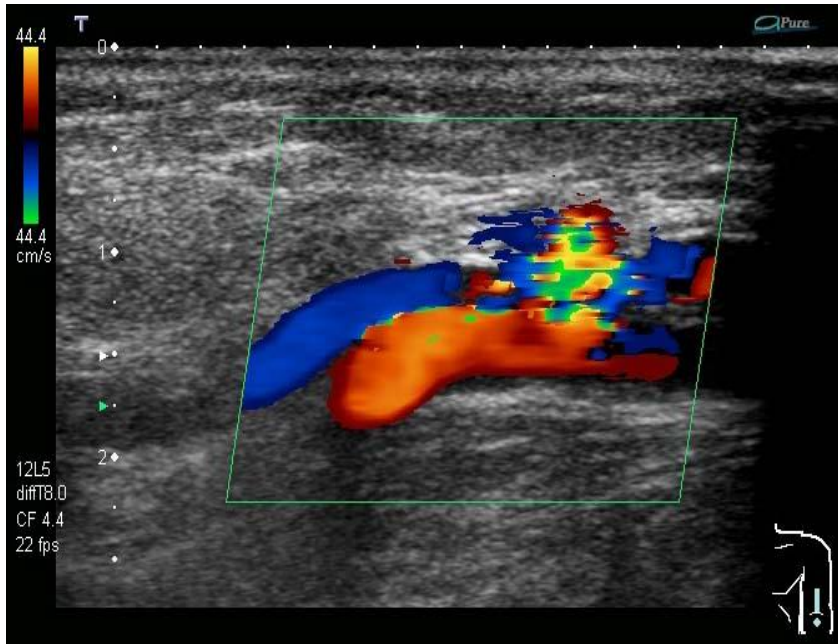


《問題7 選択肢》

- 1.僧帽弁に疣贅を認める
- 2.僧帽弁はリウマチ性変化を示している
- 3.心臓粘液腫を認める
- 4.僧帽弁腱索の断裂を認める
- 5.僧帽弁腱索の断裂は認められない

問題8

80歳女性 左前腕肘部より心臓カテーテル検査施行後より、同部位の腫脹と疼痛を訴えたため超音波検査が施行された。次の写真はその際の超音波カラードプラ画像とパルスドプラ画像である。次のうち最も考えられるものを1つ選択せよ。

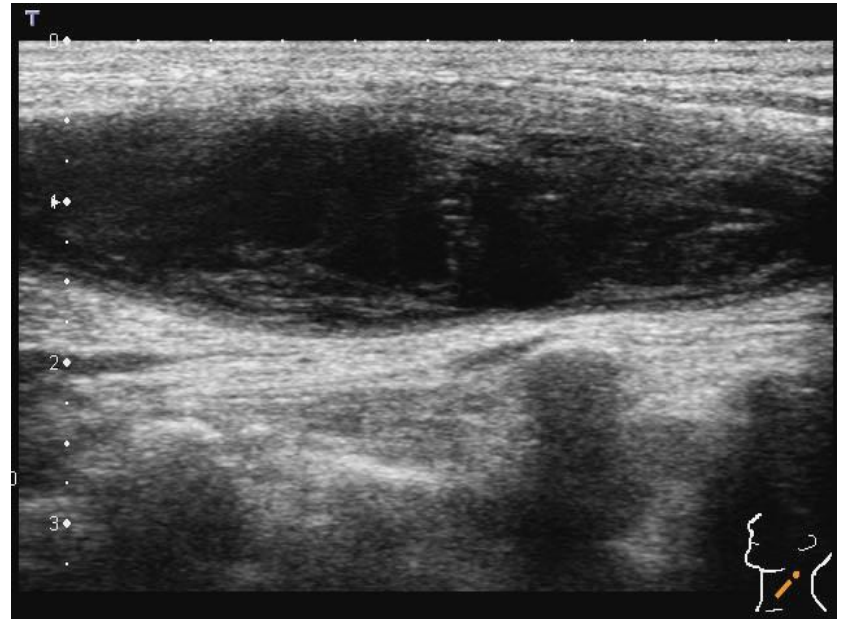
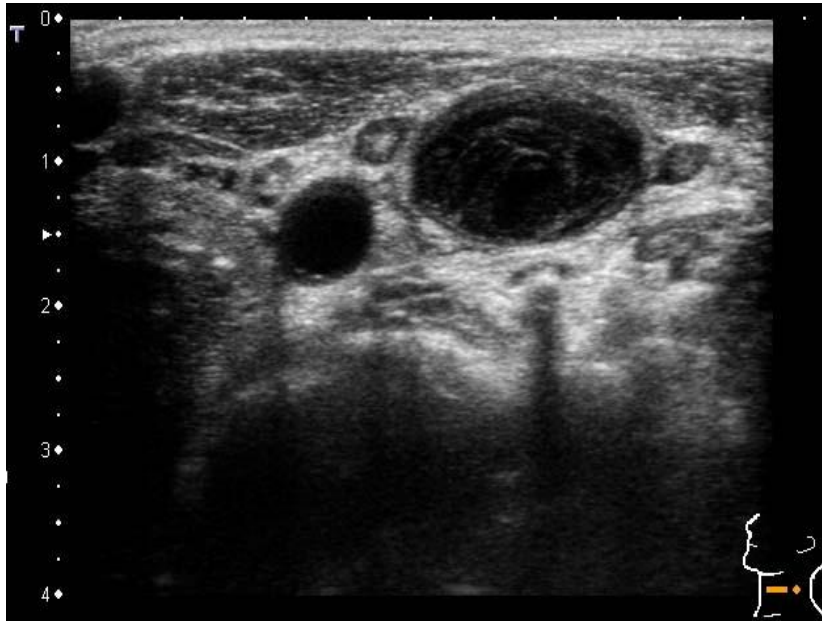


《問題8 選択肢》

- 1.動静脈瘻
- 2.動脈内血栓
- 3.皮下血腫
- 4.動脈解離

問題9

79歳女性 左頸部の腫脹と発赤を主訴に来院された。頸部超音波検査像を次に示す、最も考えられるものを1つ選択せよ。



《問題9 選択肢》

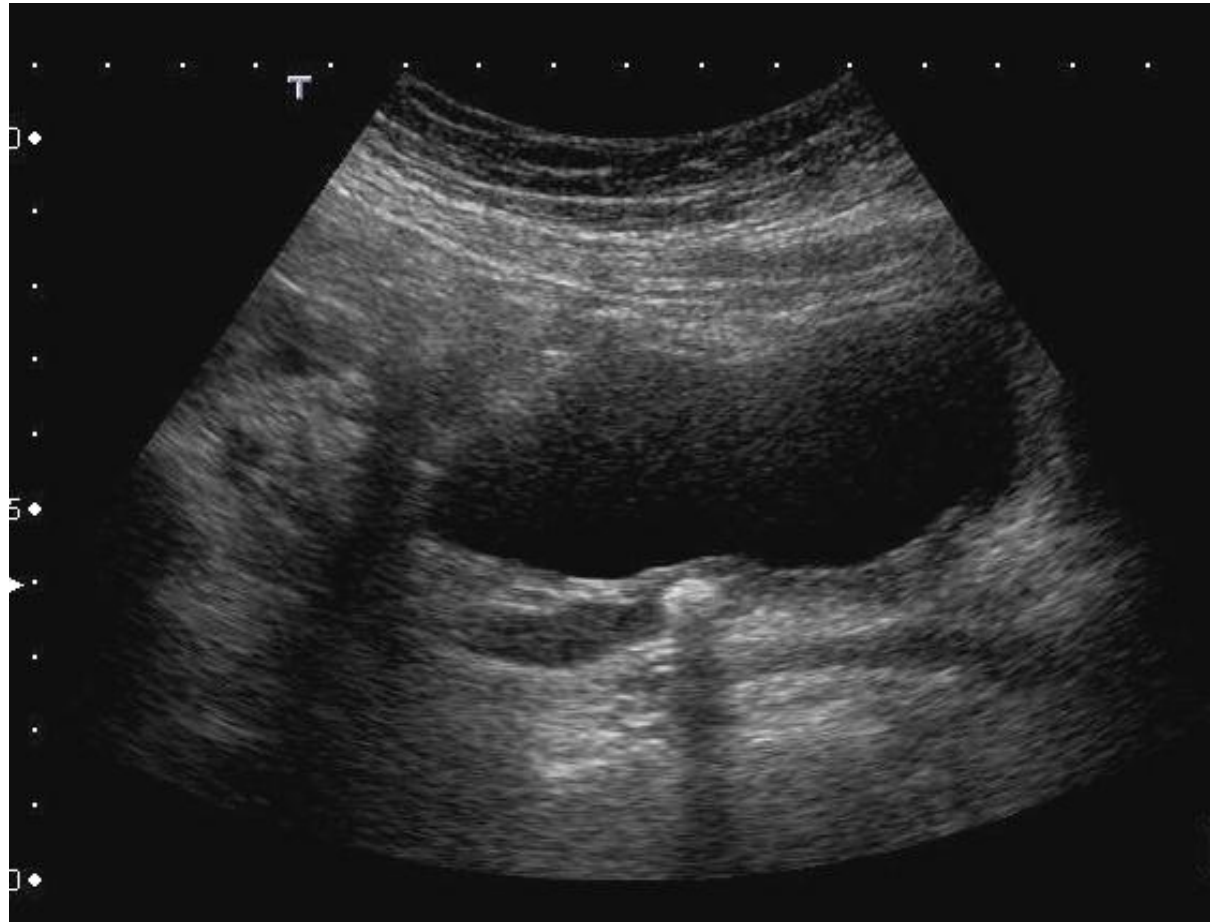
1. 甲状腺腫瘍
2. 血栓性静脈炎
3. 頸静脈瘤
4. 頸動脈解離
5. 大動脈炎症候群

問題10 58歳、女性。

スクリーニング目的で腹部エコーを実施したところ図の超音波像が得られた。最も考えられる超音波診断名はどれか、1つ選択せよ。

《問題10 選択肢》

- 1.総胆管結石
- 2.尿管結石
- 3.脾石
- 4.胆嚢管結石
- 5.膀胱結石



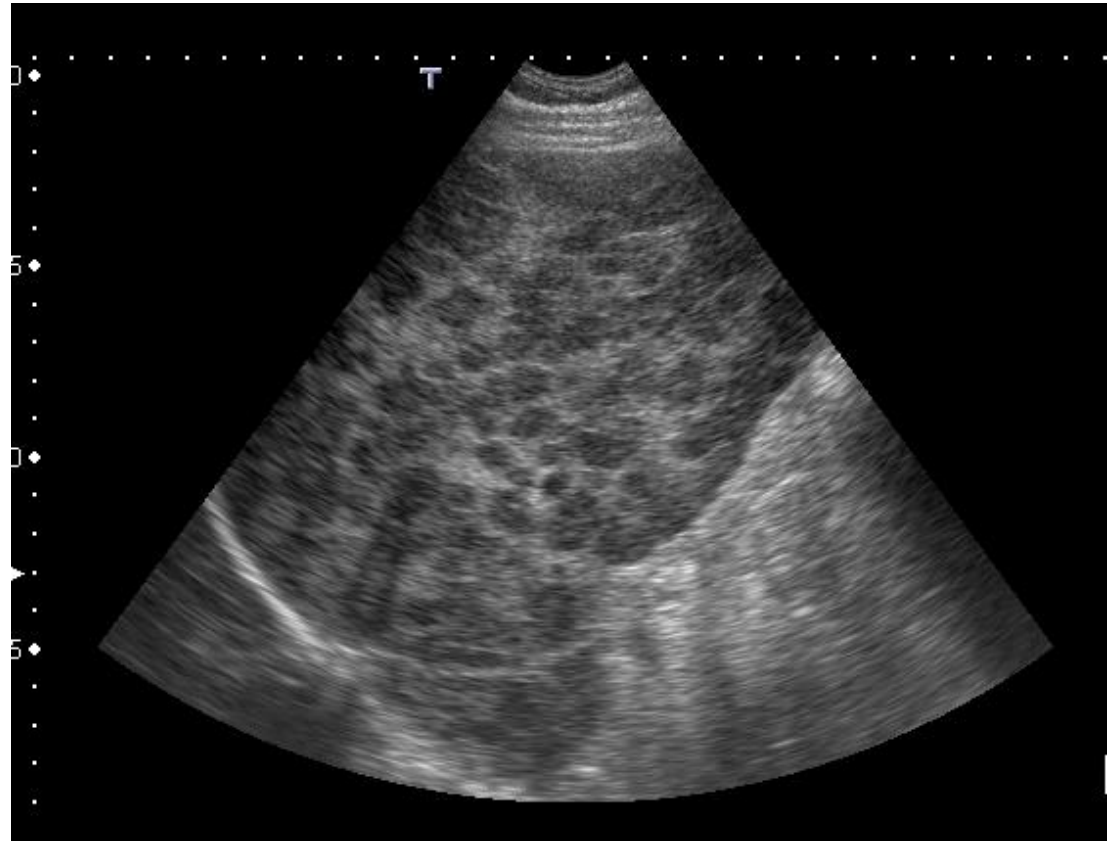
問題11 54歳 男性。

肝機能障害および右肋軟骨部の痛みがあり腹部精査の依頼がありエコーを実施した。
最も考えられる超音波診断名はどれか、1つ選択せよ。

血液検査成績: GOT 105 IU/l、GPT 151IU/l、ALP 1581IU/l、LDH 529IU/l、CRP
13.8mg/dl

《問題11 選択肢》

1. 肝膿瘍
2. 肝細胞癌
3. 転移性肝癌
4. 多発性嚢胞症
5. 肝血管腫

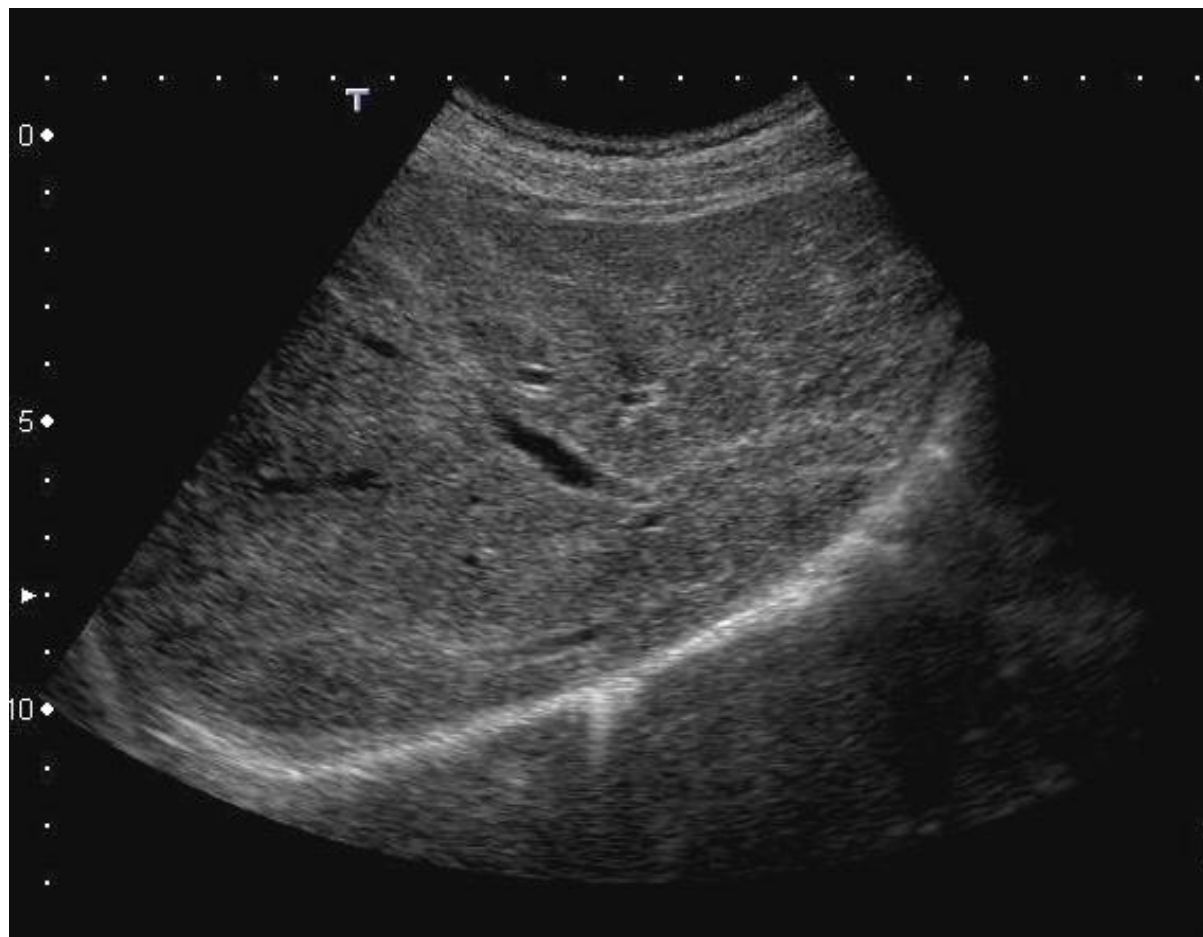


問題12 60歳、男性。

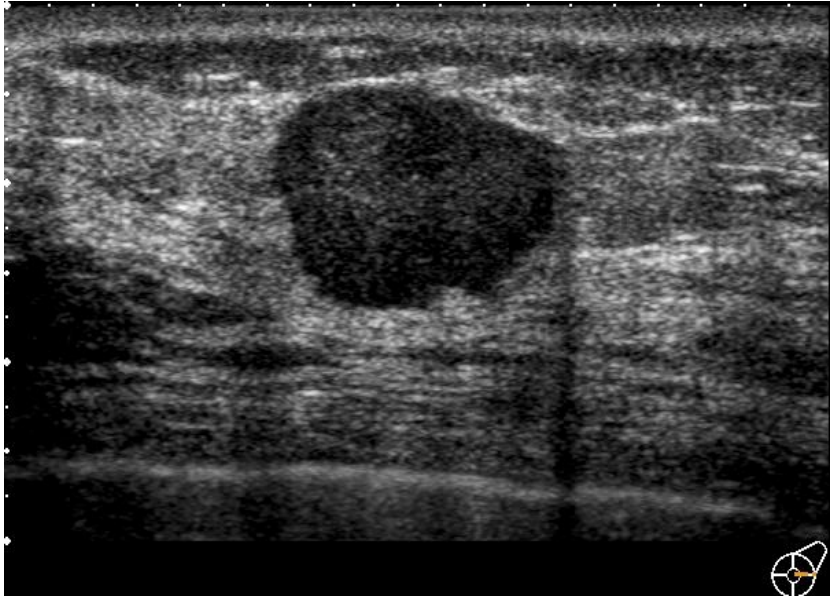
次の超音波画像で最も考えられる超音波診断名はどれか、1つ選択せよ。

《問題12 選択肢》

- 1.慢性肝炎
- 2.肝硬変
- 3.肝血管腫
- 4.日本住血吸虫
- 5.胆道気腫



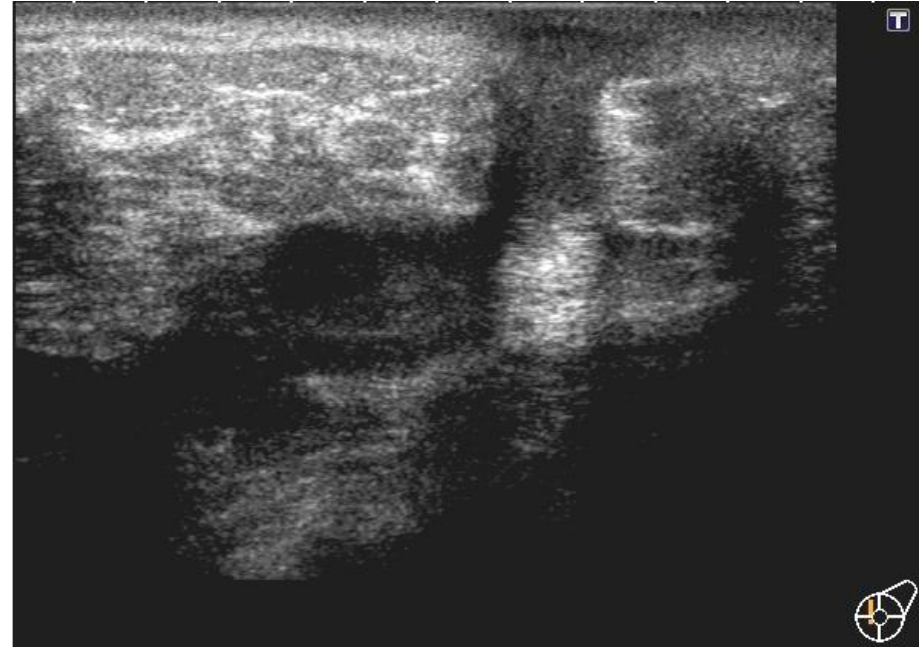
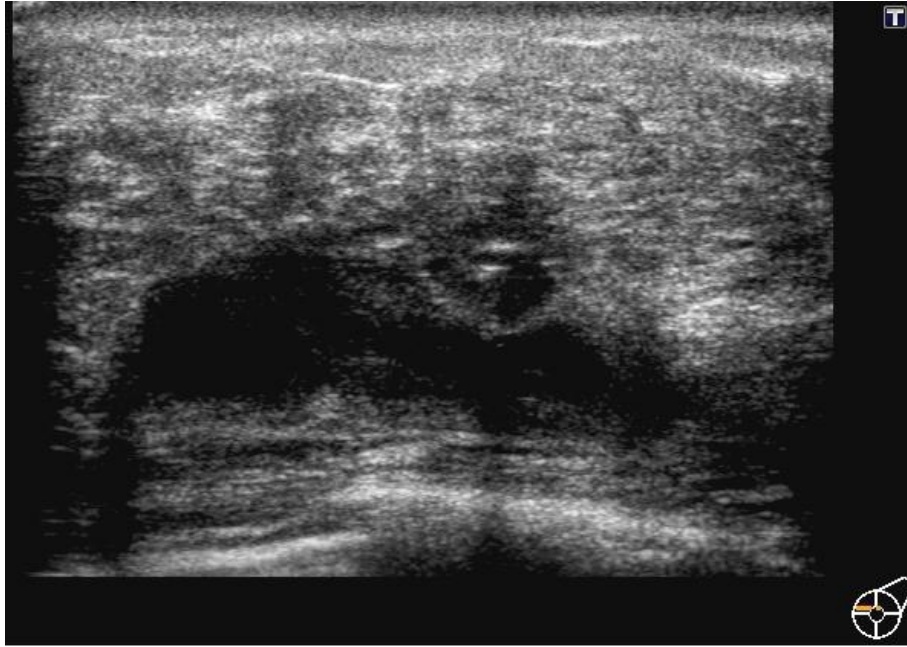
問題13 59歳、女性。現症：左乳房に腫瘤を触知し来院。
次の写真は、指摘部位の超音波像である。
最も考えられる疾患名を1つ選択せよ。



《問題13 選択肢》

- 1.線維腺腫
- 2.充実腺管癌
- 3.乳頭腺管癌
- 4.硬癌
- 5.粘液癌

問題14 38歳、女性。現症：左乳房に痛みを訴え来院。
次の写真は、指摘部位の超音波像である。
最も考えられる疾患名は何か。



《問題14 選択肢》

- 1.乳腺症
- 2.浸潤性小葉癌
- 3.硬癌
- 4.乳頭腺管癌
- 5.乳腺炎

問題15

34歳男性 低酸素脳症 意識障害

アルコール依存症、人格障害にて入院中に意識レベルが低下。

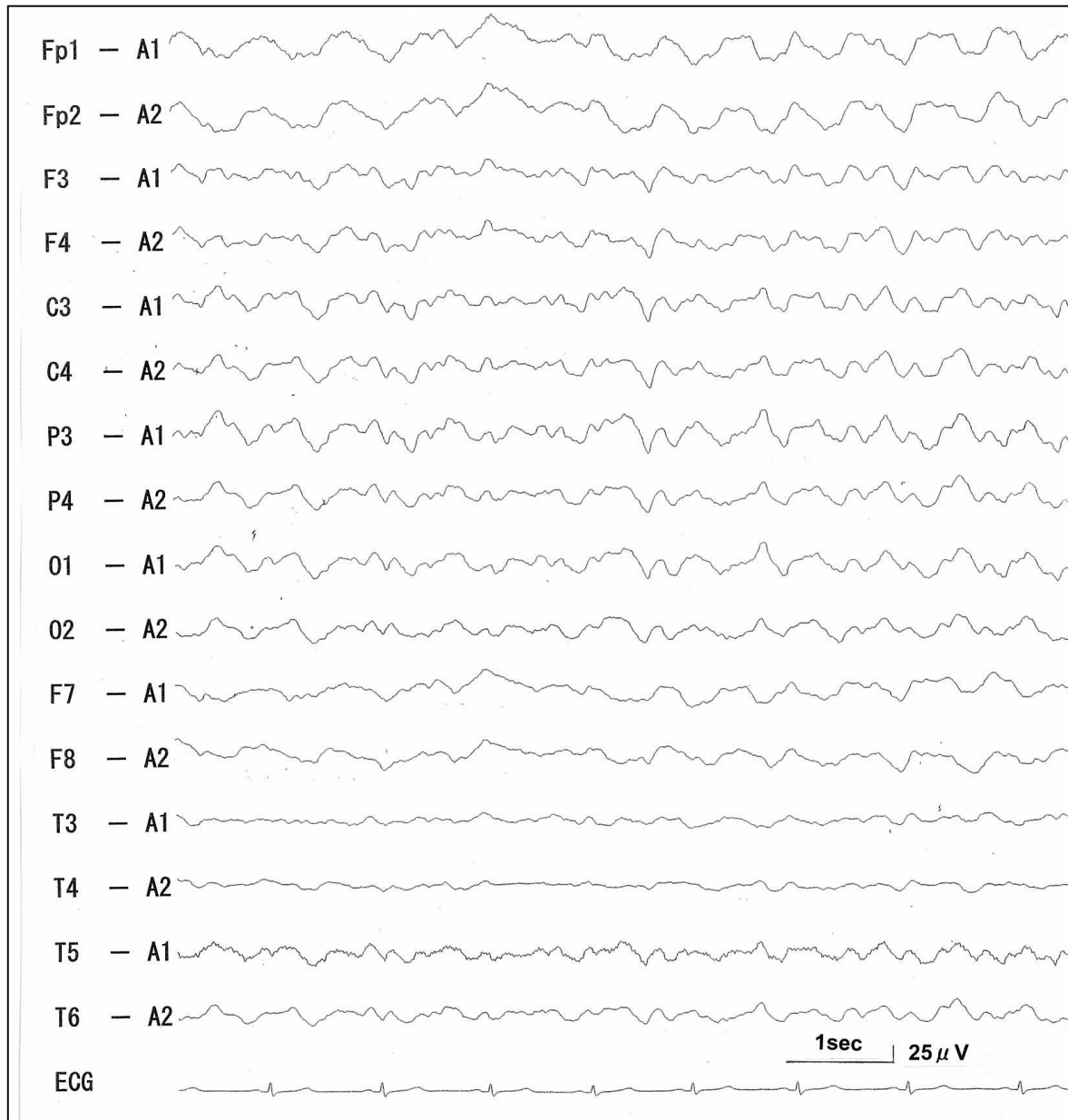
保存的加療により翌日には会話可能な状態まで改善。図15-1はその時に測定された脳波記録である。

正しいものを下記から1つ選択せよ。

《問題15 選択肢》

- 1.開閉眼によるアーチファクトがみられる
- 2.心電図によるアーチファクトがみられる
- 3.睡眠stage4(深睡眠期)の脳波である
- 4.全般性の徐波がみられる

図15-1



基準電極導出法、10mm/50 μ V、TC0.3sec、HCF60Hz、AC filter off

問題16

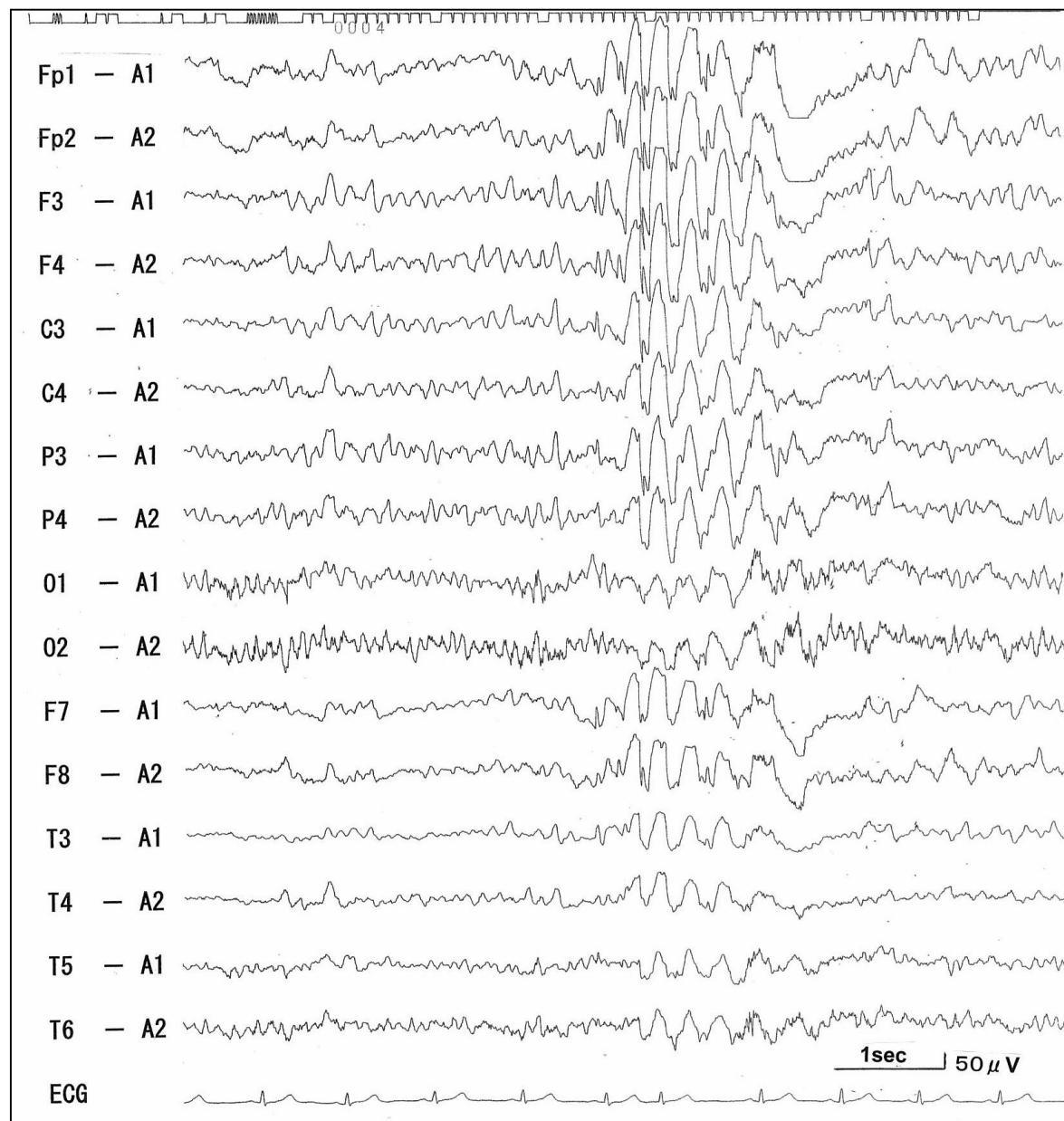
29歳 女性

子供のころ外傷性てんかんで服薬していたが、H17年に結婚した際発作もなく脳波も問題がなかったことから服薬を中止する。その後も発作はなくH21年妊娠。図16-1は産婦人科から脳波を依頼されたときの記録である。正しいものを下記から1つ選択せよ。

《問題16 選択肢》

1. 棘徐波複合がみられる
2. 入眠初期の脳波である
3. 妊娠中毒症(子癇)である
4. 欠神発作(3Hz spike&slow waves)の波形である

図16-1



基準電極記録法、5mm/50 μ V、TC0.3sec、HCF60Hz、AC filter off

問題17

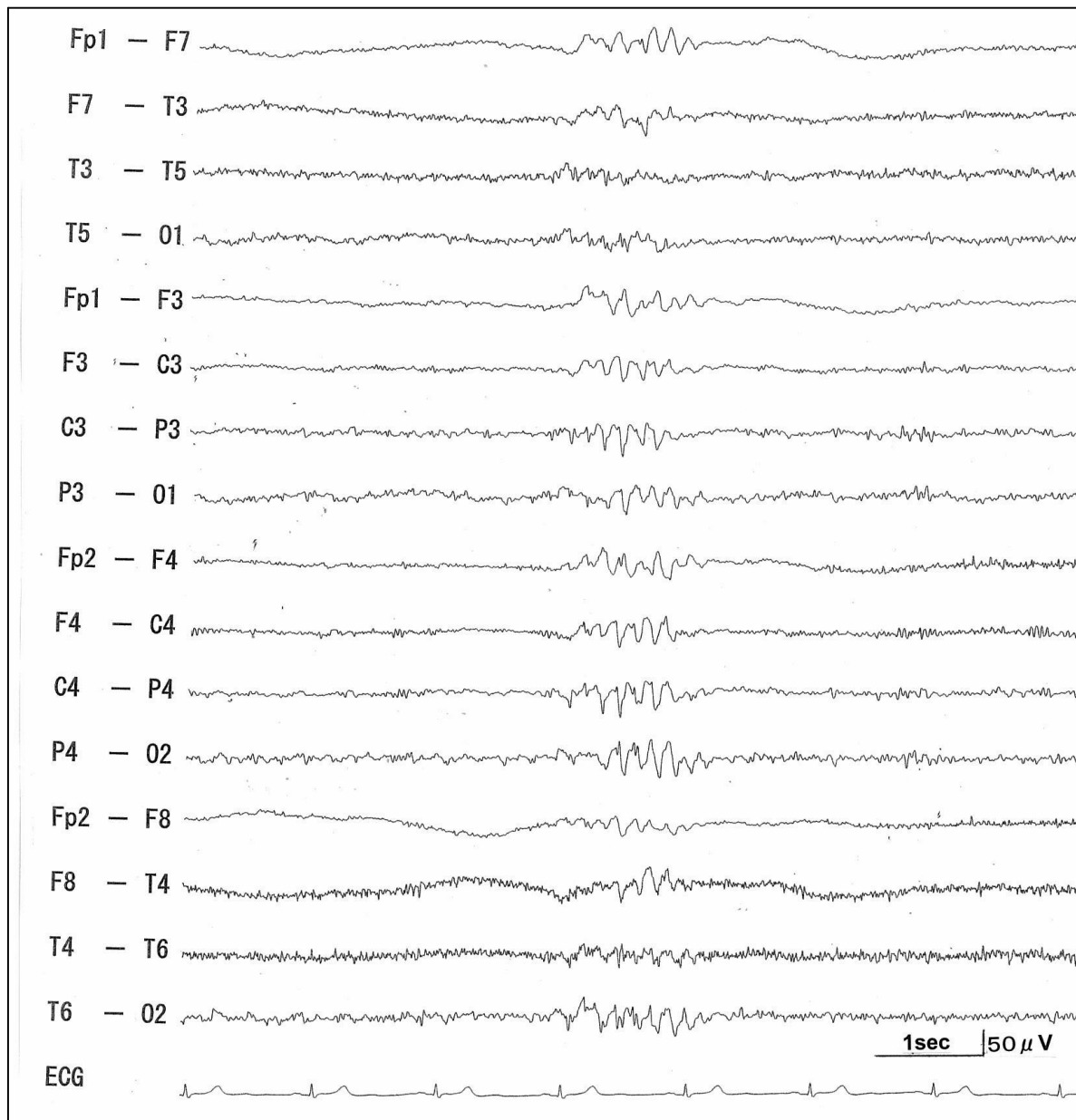
41歳 女性 てんかん

H18年(38歳)にめまいを感じその後意識消失。てんかんと診断され投薬開始。服薬後は発作なし。図17-1はH21年定期受診時の記録である。正しいものを下記から1つ選択せよ。

《問題17 選択肢》

- 1.薬剤性と思われる速波がみられる
- 2.この脳波から異常はみられない
- 3.多発棘波がみられる
- 4.humpがでているので睡眠stage1である

図17-1



縦列双極導出法、7mm/50 μ V、TC0.3sec、HCF60Hz、AC filter off

設問18

脛骨神経伝導検査施行時の遠位部刺激にて、図18-1のように波形の立ち上がり時に陽性波を認めたため、少し変更を加え図18-2の波形を記録した。どのような変更を行なったと考えられるか、次の①～⑥の中から一つ選べ。

《問題18 選択肢》

1. 刺激電極の陰極の位置を少し変更した。
2. 刺激電極の陽極の位置を少し変更した。
3. 記録電極のG1(陰極)の位置を少し変更した。
4. 記録電極のG2(陽極)の位置を少し変更した。
5. 刺激強度を上げた。
6. 刺激強度を下げた。

图 18-1

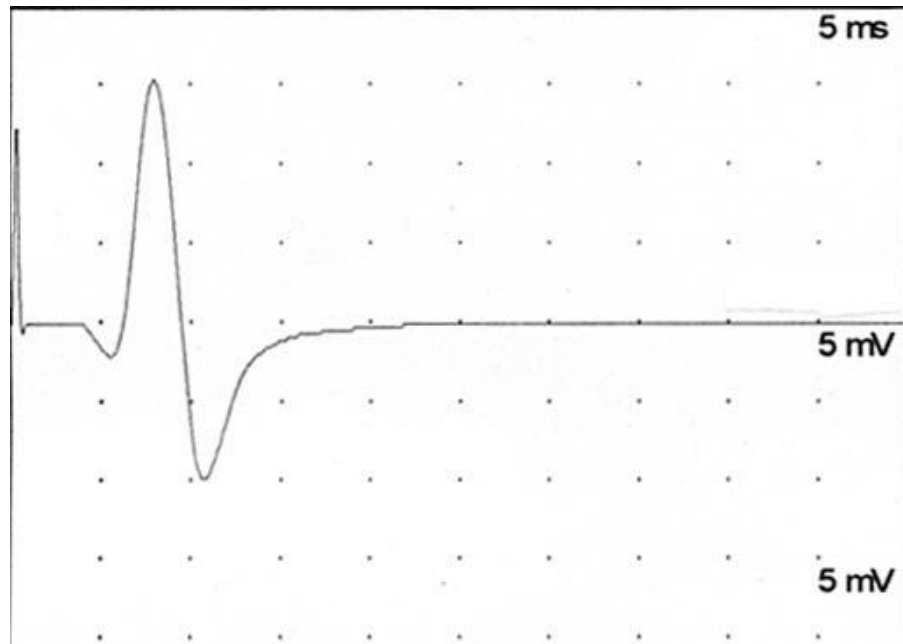


图 18-2

